

GP ブリスベン 2017

参加記



2017/2/17 (金) -2017/2/19 (日)

Brisbane Convention & Exhibition Center

目次

この本について	2	2017年2月18日(土)	
GPブリスベン2017について	2	GP本戦初日の朝	20
参加を決め航空券と宿を購入	3	荷物チェックと身支度	20
GPブリスベン2017の参加オプション	5	会場前のカフェで朝食	22
GPブリスベンの本戦デッキを決める	5	本戦プレイヤーミーティング	22
日曜日のPTQシールドに申し込む	6	GP本戦開始	23
		もしかして初日通過?	26
2017年2月16日(木)		シティに行く	27
出発	7	夕食	28
機内の夜	8	カジノへ	29
		スーパーに寄ってから宿へ	31
2017年2月17日(金)		日記を書いて寝る	31
空港で通信確保と朝食	9		
鉄道で市内の会場施設へ	10	2017年2月19日(日)	
展示ホールに移動	10	GP本戦2日目	33
開場と受付	11	会場入り	34
直前LCTシールド	12	GP2日目開始	35
Foiled Again ドラフト	13	昼食	37
宿のチェックインにひどく手間取る	15	GP本戦終了	37
マネージャーとの会話	16	今回のGP本戦のデッキを回した感想	38
夕食はバーガー	17	8人ドラフト 日曜日ポッド16	40
地域コミュニティ人気投票	18	8人ドラフト 日曜日ポッド21	41
シャワーを浴びて寝る	18	8人ドラフト 日曜日ポッド23	41
		夕食はステーキ	42
		宿でのんびり	43

2017年2月20日（月）

観光日	44
コアラ聖地への移動を開始	44
コアラ聖地に到着	45
船でシティに戻る	47
ビーチで水遊び	48
いったん宿に戻る	49
今夜もステーキ	49
カンタス航空遅延	50
工口本を買って宿に戻る	51
荷造りをして寝る	51

2017年2月21日（火）

移動日	52
宿を出て朝食	52
国際空港駅へ	53
空港チェックイン	54
残金使い切りタイム	54
搭乗	55
快適な機内	55
着陸	56
帰国	56

この本について

本書は2017年2月17日（金）～19（日）にかけオーストラリアのBrisbane Convention & Exhibition Centerで開催されたマジック・ザ・ギャザリングのグランプリ（GPブリスベン2017）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。

現地の金額表記は原則として通貨のAUD(オーストラリアドル)で行いました。為替では1AUD=88円くらいだったようですが感覚的には1AUD=80円で使っていました。

つまりそれって、実はかなり予算をオーバーして使っていたのでは…（笑）

GPブリスベン2017について

本書を手取るような方であればおよそ説明の必要はないとは思われますが、

GP (Grand Prix;グランプリ) というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。

世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に4回ほど開催されます。

GP ブリスベン 2017 (※1) はオーストラリアのブリスベンで2017年に開催された大会ということになります。ChainLinks Event (※2) が主催しました。会場は、Brisbane Convention & Exhibition Centre (※3) でした。

※1 <https://brisbane.cleventsgp.com/>

※2 <https://www.facebook.com/cleventsgp/>

※3 <https://www.bcec.com.au/>

参加を決め航空券と宿を購入

基本的に筆者は、近場 (※1) の海外のリミテッド (※2) GP にはお金や有休に余裕があれば参加することを基本パターンにしております。

なのですがオーストラリアは欧米ほどではないもののLCCは充実してませんし、時差はほとんどないものの地球を半周するので航空券はそれほど安くありません。そして何よりGP ブリスベンは「モダン構築」なのでした。実際、2016年の12月頭の時点では自分の「来年行く可能性のあるGP」としては△印がついています。

そして2016年の12月には筆者は**失業者**の状態であり、時間はたっぷりあるものの、果たして貯金を崩してまで行くべきかね？という状況が続いてはいたのです。

なのですが、実はこの12月の頭に就職活動の結果として某社に十二分な手ごたえがあり事実上の内定が出たもののそこから「社長面接待ち」という連絡が来たきりで、それから半月ほど連絡が来ない状態になっていました。

このため「んー？『やっぱり不採用にします』ならそうハッキリ言って欲しいんだけど」と思いつつも「これなら仮にここに就職するにしても4月からだろう」と判断したため、

では3月まではヒマがあって貯金もまだあるなということで参加を決めました。

ちなみにその後、この会社と連絡があり結局年末に「2017年1月4日から勤務開始」と急遽決まったため、試用期間中なのにほぼ一週間海外に遊びに行く羽目に（笑）

記録によれば12月14日の夜に検討を開始して15日にぼちってます。**決断早すぎ**。まあ日本からブリスベンへの直行便はどうもカンタス航空（※3）一択で、しかもそれも1日1便の状況なので日付が決まっている以上他に検討の余地はなく、うかうかしてこの航空券が値上がりしたり売り切れたりしたら目も当てられない、ということが大きかったです。安さだけならLCCの上海経由便とかあったんですがやはり直行便ですね。あとはエクスペディア（※4）により会場に近い安宿「Some Rooms Backpacker」（※5）を適当に探して決定（それにしてもいい加減な名前の宿ですよ（笑））。当然ながらシャワーは共同ですが個室は確保しました。お値段は宿代と合わせて106798円。まあ、オーストラリアならば割と普通。あとで他のサイトで調べた宿代（一泊4千円位）で考えれば飛行機代がそのうち9万円。なんにせよ、あとは公式サイトでGP本戦を予約すれば基本、準備完了です。あとは旅行者が忘れてはいけないETA。3月にGPメルボルン2016に行ったのでETAは前回取得していたものの、ETAの有効期限は1年であり前回のETA申し込みは2015年12月に早々にしていたのでアウト！仕方ないので20AUD払ってオーストラリア政府のサイト（※6）から申し込みを済ませました。言うまでもなく、こんなものに数千円積み増しして申請代行を頼むことはないでしょうね。サイト日本語使えるし。

※1 飛行機でせいぜい半日くらいの旅費の高くない所。海外は中国や赤道のあたりまで。豪州や米国や欧州は圏外。

※2 筆者は「プレイヤー」としては構築はそれほど興味はありません。でしたが最近はそう悪くないなども。

※3 <http://www.qantas.com/travel/airlines/home/jp/ja>

※4 <https://www.expedia.co.jp/>

※5 <https://jp.hotels.com/ho602451/>

※6 <https://www.eta.immi.gov.au/ETAS3/etas>

GP ブリスベン 2017 の参加オプション

最近の GP では、本戦参加のみならず「スリープイン」サービスや VIP 等のオプションがつくのが慣例です。とりあえず過去の経験からここはお金を惜しむところではないので、普通に 250AUD 支払って VIP にエントリーしました。

基本	90AUD (予約)	<ul style="list-style-type: none">・ GP ブリスベン 2017 本戦参加権・ 本戦プレイマット・ ID カード・ 《大祖始》の本戦プロモ
スリープイン	AUD	<ul style="list-style-type: none">・ 「基本」の獲得できるものすべて・ スリープイン・サービス
VIP	250AUD	<ul style="list-style-type: none">・ 「スリープイン」の獲得できるものすべて・ GP ブリスベン特製ひもバッグ・ GP ブリスベン特製マグカップ・ GP ブリスベン特製ピンバッジ・ 過去の ChainLinks 主催の GP プレイマットからランダムに 1 枚・ ライフメモ・ ペン・ VIP 専用ペアリングボード・ VIP 専用プレイ座席 (プレミア用ペアリングボードから近い)

GP ブリスベンの本戦デッキを決める

自分は普段もあまり構築をやらない人間であったものの、過去の例から GP 本戦も適当なコピーデッキで臨んでもそこそこ PWP を稼げることが分かったので、自分に合いそうなデッキを直前に作って持参するのを最近のパターンにしています。

今回は、うしびーのアドバイスに従い「赤緑ブリッツ」にしてみました。柏木でデッキを借りて回してみると、右手が光ると 2 ターン目にずらずらと 3-4 体が並んだうえそれらがパワー 3 で殴りに行って 10 点以上をもぎとり 3 ターンでキルも可能。なるほど面白い。

そうと決まれば、とりあえずネットでデッキを検索してコピーすることから開始。ただ、このデッキは《無謀な奇襲隊》は明白に4枚必須であるものの、それ以外は割とバリエーションがある感じ。そして自宅の「ゲートウォッチの誓い」箱を開けるとアンコモンの《無謀な奇襲隊》は3枚しかないことが判明したので、出発間際の2/14に東京MTGに会社帰りに寄ってシングルで購入。あとは土地だけは完コピーしたものの、2マナ以下の赤と緑のカードをあれこれ検討してメインとサイドを決めました。(リストはP.32)

今回もデッキを作ったのは一週間くらい前だったので事前に実際の人間と対戦する機会はありませんでしたが、回して楽しかったので一週間ほど朝晩欠かさず1人回しはしました。フェッチからどの土地を持ってくるかってのも割と大事だったのでこの練習は重ねていて正解だったと思います。

日曜日のPTQシールドに申し込む

GPブリスベンを翌週に控えた2月の頭にウイザーズが「GPの日曜日はPTQをやる」ことを発表してただちに実施されました。

GPブリスベン構築なので日曜日にはPTQシールドが行われることになります。

そしてどれだけ準備があったのかは不明ですが、ほどなくオンライン予約ができました。もとよりリミテッド好きで、まだまだPWPも稼いでおきたかった自分はこの変更を喜び、構築GPで2日目に進むこともあまり想定しておらず、そして「もしGP2日目に進めたら返金します」という告知もあったため、迷うことなく75AUD払ってこれを予約しました。

GP終了後の月曜日はまるまる観光日として位置づけて帰国も火曜にしたものの、ガイドブックを読んでもコアラ聖地くらいしかないのかな、あるいは泳げるのかな、とも考えて、それほど綿密な予定を立てることもなく、いよいよ出発の日を迎えることになりました。

2017年2月16日（木） 出発

成田とブリスベン間を往復するカンタス航空の便は1日1便しか就航しておらず、そして成田を出発するのは19時半です。これは「機内で寝ていれば翌朝に着いて時間を有効に使いフルで金曜のGPを満喫できる」望ましいフライトなのですが、ともあれこの時間に成田に居なければなりません。

そしてすでに年明けからは就職を開始し、というよりは「2月末の納品」を控えてすでに忙しい日々（笑）を送っていた自分は、この日は1日休みにはせず「半日仕事をして会社から成田に行く」ことにしました。ちなみに会社のノートPCは持参し、現地から指示を技術者に与えるという社畜タスクも含まれています。時差がほぼないのが幸い。

このためあらかじめ荷物は前日までに作っておいたうえで、仕事をきりの良いところまで進めて15時過ぎにオフィスを出ました。

それから16時前に品川駅のホームで自宅から旅行鞆を引いてきた女房と合流してそれを受け取り、一方でいらないものを渡してから16:02発のエアポート成田に乗車。

なにごともなく17:40に「空港第2ビル」駅に到着。第2ターミナルでカンタス航空のカウンターIに並んでから旅行鞆を預けてから発券を行って、18:20にはセキュリティとイミグレを通過。82番ゲートへ。ゲートの前に吉野家があったので「夕食取るか？」と思ったもののカウンターで確認するとやはり「離陸後すぐに食事が出る」と知ったのでそれは見送り。ただしコンビニでコーラとポテチ（プリングルス）などは購入しました。

あとは少しだけ待ち19:15にカンタス航空62便に搭乗。定刻どおりに19:30に離陸。

あとは9時間後にブリスベン到着の予定です。

ま、基本は寝ていればいいでしょう。



機内の夜

離陸するなり、さて客席のコンソールは…と思いつつ操作すると「映画」の中に日本では公開したばかりの「ドクター・ストレンジ」を日本語の吹き替えつきでやっていました。そして何よりも無料。こういう所は、やっぱり LCC じゃない航空会社はいいですね！喜んで鑑賞。

21時に夕食が出たので、おいしくいただいたのちに22時過ぎに鑑賞を終了。「ドクター・ストレンジ」は大変にゆかいな映画でした。これは板を買おうかなあ。



その後でこれも新作の「マグニフィセント・セブン」も吹き替え版があったので、興味がないでもなかったのが鑑賞開始。開始するも、3人目の仲間を誘っているあたりで「ああ、この調子であと4人揃えて戦っておしまいだねたぶん」と思ったので眠くもなってきたし、機内の照明も落ちているので鑑賞中止。基本、飛行機の中は寝たほうが良いです。

2時24分に機内の照明がつき、眠っていない客に対して軽い朝食。うつらうつらしていたものの、受け取ってからおいしくいただいて2時50分。

「シン・ゴジラ」など見て残り時間を潰しているうちに9時間のフライトは終了して、午前4時に着陸体制に。

ブリスベンと日本の時差は1時間しかないのでつまり現地時間は午前5時。時計を合わせます（ここからは、現地時間で記します）。そして5時15分にブリスベン空港に無事に到着。



2017年2月17日（金） 空港で通信確保と朝食

現地時間は5時半。夏なので外がすでに薄明るくなりつつある空港ビルの中を進む。

イミグレで前に並んでいたトモハルさんと雑談。イミグレは例によって自動機で通過。

荷物待ちのところで再度トモハルさんと雑談するうち、お友達2人も来て、さらに雑談を続けるも、自分の荷物が来たので一同に挨拶して去ります。

ATMで現金500AUDを獲得したうえで通信の確保に。ほどなくOPTUSのカウンターを見つける。自分の前に1人居てカウンターに店員が1名。準備らしいことをしてはいるがなかつたけど、なぜか目の前にいるその人に応対してないねと思ったら、6時きっかりに応対を開始しました。なるほど。うん、それでいいのです多分。

自分の番が来たのでスマホを渡して6GBプランの40AUDを払って設定して貰う。4GBプラン30AUDで足りるかもしれないものの、観光日に位置づけた来週月曜の途中で切れたら目もあてられません。ここは10AUDを惜しむところではないでしょう。



OPTUSのカウンターの目の前にカフェがあったので、カプチーノとマフィンを頼んで座る。もちろん、通信が繋がっていないなどがあつたら再度カウンターに行くためですが…問題なくネット接続できている模様。

死ぬほど甘いチョコマフィンをかじった後で「やっぱり塩気のある朝食も済ませておくかと思ったので、追加でハンバーガーとコーラのセットを注文する。16AUD。

ハンバーガーとコーラで1500円弱か…というのはもう

1年前に慣れたし、出てきたものを見たら、

予想の倍くらいのサイズであり、ぎっしりとポテトと野菜も敷き詰めてある。これならそれほど高いとも言えないかな。

おいしくいただく。

食後、構内コンビニで成田で買い忘れたACアダプタを買って7時過ぎに空港を出る。



鉄道で市内の会場施設へ

案内に従って空港ビルの2階から向かいの鉄道駅に移動してからサウスブリスベン駅へのチケットを18AUDで購入してホームへ。そして電車を待ったわけだが…**暑い**。日本は真冬だがブリスベンは真夏なので、朝の7時の時点でも20度。この中を冬の完全装備でカートを引いているとたちまち汗だく。たまらないので到着時間を確認したうえホームのトイレで手早く上のポロシャツの下に着ていた下着を脱ぐ。股引はあとだ。

7時38分に市内行き電車に乗車。エアコンが効いている。ありがたい。車内で朝の薬を飲み忘れたのに気がついたので、コーラで流し込んでくつろいで、うとうとする。



…目的のサウスブリスベン駅で**降り損ねた**。すぐに気がついたので次のサウスバンク駅で降りてからホームを移動し、一駅戻って到着。駅を降りてきて目的のコンベンションセンターは駅前のはずなのだが…と思って探すとほどなく発見。8時20分。

展示ホールに移動

施設はここに間違いないし入口の「本日の開催イベント」リストにG Pが表示されている。よし、ではまずは会場前に行こう…と思って案内に従って目的のホールを探し…たのだが、まさかの展示ホールを**発見できない**事態になり30分くらい迷う。迷いついでに会場トイレの個室で股引を脱ぐ。

結局何度も行ったり戻ったりしつつ最終的に係員に案内して貰ったのですが、目的の展示ホールはこちらの入口からだ、広い施設の反対側というオチでした。



さすがに今度は間違えようがないし、テーブルにカードを広げているひとも居るが、まだ閑散。9時前だしね。窓際のテーブル席に座って、そもそも金曜の開場は何時だったかなと考えていると目の前をフルコンプのスタッフとしてディーラー参加していた Zaku くんが通りがかったので、開場時間を聞く。やはり 11 時であるらしい。

まあ前日 GPT の受付が 11 時 45 分からだったから、そんなところだと思いました。つまりまだ 2 時間ある。よし、ここはやりたくないが日本から持ってきた仕事を片付けてしまうことにしよう。PC を起動してスマホをテザリングしてメールチェックなどしつつ今日中に仕上げ送る予定だったマニュアルを書き始める。書き終えた。

開場と受付

さすがに 11 時の開場時にはそこそこに人が集まっており、開場するなりエントリーの**長蛇の列**。どうやら VIP エントリーも普通の本戦エントリーと同じくこの列の最後に



並ばねばならないらしいと知ったので、まずは LCT シールドに 50AUD 払ってエントリーを済ませて、さらに本戦のデッキリストを書いた（日本で作って印刷してきたのを忘れていた）。その頃にはだいぶ短くなっていった列に並んで、VIP エントリーを済ませて袋を受け取る。

直前LCTシールド

開始予定の正午を回ったが、なかなかLCTシールド開始のアナウンスがない。そうこうするうちにフライトのドラフト2卓目が立ったというアナウンスが流れる。32人集まらないみたいですね。しかし通りかかったリッカルド（黒服）に聞いたりするうち、やがて最終アナウンスが流れ、12時半頃に16名により開始。

待ち時間がヒマだったので、メディア同意書も書いて受付に提出。

LCTは全勝優勝者に明日の本戦2BYEが出るものの、シングルエリミでなくスイスであるので単に遊んでいくという感覚。2勝以上でプライズポイント。まあ、ルール適用度も

「一般」ですしね（デッキリストのプール登録は行いました）。レアはどうでもいいモノだった（ていうかデッキに入らなかった3枚は無くしてしまい記憶に残っていないくらいレアでした…）

《霊気圏の収集艇》
《耕作者の荷馬車》
《ギラプールの希望》

獲得レア

Creatures: 17

《ギラプールの希望》
《大胆な潜入者》
《精緻会の改革派》
《穴進する地虫》
《経験豊富な操縦者》
《砦の執行官》
《エンプロールの歯車砕き》
《最前線の反逆者》*2
《無謀なレーサー》*2
《襲撃会の扉破り》
《搾取工区の喧嘩屋》*2
《空渦鷹》
《暁羽の鷲》*2

Spell: 7

《発明者のゴーグル》
《改革派の地図》
《絶妙なタイミング》
《世話》
《耕作者の荷馬車》
《霊気圏の収集艇》
《無謀者の競走車》

Lands: 16

《平地》*8
《山》*8

構築デッキ

Round1 Danielさん 白黒 ○○

相手の体制が整う前に速攻で倒す。あとで見せて貰ったら結構強いレアが一杯入っていたので、長引いたら負けていた感じ。

Round2 Malcolmさん 白赤緑 ×○×

デッキのプールチェックを互いにした方でした。

G1 こちらの伸びが悪いところで、相手に《不撓のアジャニ》登場。うん知ってるそれ僕きみのデッキをチェックして見てました。そのまま完敗。

G2 まあ勝ち。

G3 山山で手札をキープしたら平地を引かずに事故負け。ちかたないね。

Round3 Lucusさん 白緑 ○○

開始の掲示を見逃していて少し遅れる。とはいえ競技ではないので1本取られずそのまま対戦。すまん。

対戦相手はまだ小学生くらいに見える子供で、というか実際に小学生だったのかも。

デッキも特に踏み倒しプランもなく1マナ7/11搭乗6を入れてくるような感じで、基本サイズのでかいので殴るだけで、除去も薄くトランプルもなく1/1で止めて返しに殴っていったら危なげなく勝てた。まあがんばれ。MTGの未来を担うのは君たちだ。

とはいえとりあえず、これで賞品圏に到達。

Round4 Leeさん 白緑 ○○

特に書きたいこともなく、だだ負け。残念。

結果2-2で6チケットを貰って終了。さ、次いこ次。

Foiled Again ドラフト

続いてGP金曜日のおたのしみの「Foiled Again」に25AUDを払って参加。エントリー開始の17時きっかりにエントリーしすぐ立ったポッド2に参加できる感じだったものの手違いで後ろに回されてポッド4で参加。気にしない。

- 1-1 《靈氣圏の収集艇》。を、今日2枚目。取らない理由はないので取る。
- 1-2 《速製職人のスパイ》。んー、青はそれほど積極的にやりたくないのだがロクなアンコモンもないし…と思い取る。
- 1-3 《ヤヘンニの巧技》。これが流れてくるということは上2人は黒をやっていないということか。じゃあ今日は黒で行こうと思い、取る。
- 1-4 《光袖会の収集者》 フォイル。この流れで弱くない黒のレアを取らない理由はない。取る。
- 1-5 《不許可》。あーもう今日は青黒でいいやということで取る。結局デッキに入らなかったけど。
- 1-7 くらいで《闇の暗示》も拾う。青黒タッチ赤もありかもね。
- 2-1 《不死の援護者、ヤヘンニ》。躊躇せずに即取り。以後は青黒と決め打ちで、他の色はカットのみに専念。
- 3-1 《サヒーリ・ライ》。キマシタワー。もうデッキに入らないけどもちろん取る。

《速製職人のスパイ》
《不許可》
《ヤヘンニの巧技》
《光袖会の収集者》
《不死の援護者、ヤヘンニ》
《サヒーリ・ライ》
《靈氣圏の収集艇》

獲得レア

いい感じで競合相手の少ない青黒でまとまった感じ。特にだだ強レア《靈氣圏の収集艇》を引っ張ってこれるアンコモンの《戦利品の魔道士》2枚がいい感じ。
これは善戦できるかな？

Creatures: 14	Spell: 10	Lands: 16
《第四橋をうろつく者》	《隠然たる襲撃》	《島》*7
《靈氣急襲者》*2	《陳腐化》	《沼》*9
《光袖会の収集者》	《つむじ風製造機》	
《歓待する構築物》	《靈氣圏の収集艇》	
《戦利品の魔道士》*2	《果敢な爆破》	
《不死の援護者、ヤヘンニ》	《ヤヘンニの巧技》	
《夜市の護衛》	《ボーマットのバザール船》	
《ヒレナガ空鯨》	《巧みな交渉術》	
《速製職人のスパイ》	《解析調査》	
《難破船ウツボ》	《危険な窮地》	
《岩の発明者》*2		

構築デッキ

Round1 Johnstonさん 赤黒 ○○

回って勝ち。

Round2 Brianさん 青緑 ○○

危なげなく勝ち。を、これは3-0いけるかな？

2回戦の終了後に3回戦の相手がスプリットを持ちかけてくる。すでに19時を回っていたので同意したかったものの、フォイルはともかくDCIの記録に紐づいてるプライズポイントを100-60でなく80-80にできるのかなあと思って聞くとやはり「できない」とのこと。まあ仕方ないよね。正直、これが紙のプライズでないこのシステムの欠点。それはそれとして、まあ仕方ないよねと思って打つ。

Round3 Yangさん ○××

G1 回って勝ち。

G2 回られて負け。

G3 先手でワンマリの末、土地2枚キープしたらその3枚目の土地を引かなくて負け。
ま、ちかたないね。

ランダムにFNMプロモ3枚を貰う（割とどうでもいい）。これでGP金曜日は終了。
20時半に会場を出る。いよいよ明日はGP本戦の初日だ！

宿のチェックインにひどく手間取る

会場を出るとすでに夜はとっぷり暮れていたが、ぐーぐる先生で見える限りは目的の安宿の「Some Rooms Backpacker」（いまさらだけど安直な名前の宿だ（笑））はまっすぐ一本道であり遠くなく予約とリンクした地図にも乗っていて迷いようがない。実際に5分くらい歩いて到着した。よしよし、と思って入ろうとすると**玄関に施錠**。

またこのパターンかと思いつつ（GPメルボルン2016本参照）ガチャガチャしていたら、奥から宿泊客らしい誰か来て玄関を開けてくれた。ありがと。では中でチェックインかな、と思って入ると**フロントというものが存在しない**。このパターンは初だ。

壁際に携帯電話が掛けてあり「チェックインの際はこの番号に電話よろ」と書いてある。仕方ないのでそれを取りその番号に電話すると、やがてマネージャーの男性につながった。そのまま会話を続けて（当然英語）、チェックイン客であることは普通に通じたようだが、なぜかそこで「この建物を出て？に下って？でまた電話をしろ」というよく聞き取れないことを言う。そもそもその指図の意味が分からない。一応それに従って建物を出てみたものの土地勘もなく距離感も掴めない真っ暗な夜道をどっちの方向にどれだけ進めばいいかも分からず**絶対無理**なので建物に戻る（＝ドアをガチャガチャで開けて貰う）。仕方ないので再度壁の番号に電話をして「なに言ってんのかわかんねーよ」とか叫んだり電話を切ってうろうろしたりドアを開けて貰った女性に相談したりして30分くらい苦悩するうち、その女性が（おそらくそいつの所に）電話した後に、12号室のカードキーを手渡して「部屋はここ。マネージャーはいまこっちに車で向かってる」と伝えてくる。深くお礼を言いつつカードキーを受け取って部屋に入り、まずは荷物を置く。

なぜこの女性が自分の部屋のルームキーを持っていたのかは謎。事前に話があったようにも見えないから、恐らくマネージャーから「鍵の置き場所」を教えて貰えるくらいの関係の「長期滞在客」なのだとは思う。

マネージャーとの会話

泊まる部屋に入れられないという最悪の状況を脱して21時過ぎに自分の部屋に荷物を置いて、デスクの類はないので冷蔵庫の上にPCを置いてコンセントにつなぎ（空港で買ったACアダプタは普通に機能した）、スマホのテザリングでブラウザを起動。椅子もないので立ったままネットサーフィンをしつつツイッターを読んでぼやいてひと息ついたものの、

こんな状況では夕食にも出られず腹も減ったし暑いし眠いし最悪な気分のまま「なんで俺はこんな宿にしてしまったんだ」と30分ほど鬱々と悩むうちに、マネージャー登場。マネージャーのあんちゃんは着くなり「すまんすまん」と言いつつ説明（4人部屋を1人4日間使い放題、シャワーや食堂の説明、地下の洗濯機の説明など）を済ませたうえで、自分のPCを見て「Wifiは使うか？」と聞いてきてYesと答えたのでその場で設定の説明などしつつセットアップ開始（実はうまくつながらなかったのだが）。

さらに開けたケースの自分の荷物をちらと見て「マジックのイベントに来たのか？」と

ド直球の質問をしてくる。「Yes」と答えると「日本からは何人くらい来てるんだ」

「30人くらいかな」「Youは日本のチャンピオンなのか」「はっはっは俺は単に遊びに来ただけだよ」という会話をする。大幅にこいつへの**好感度アップ**。

まだWifiでブラウザを立ち上げてつながらなかったものの正直あてにしてなかったので「それはもういいから夕食にしたいので近くの店を教えてくれ」と聞いて「目の前の坂を下りるとすぐ」と教えられる。じゃあもう出るからいいよと言うと「出るならPCはその鍵つきロッカーの中に入れていけ」と言われる。そんなに治安が悪いのかと思いつつ従う。

夕食はバーガー

21時半に、宿を出て目の前の道路を渡って坂道を下る。食事もできそうな賑わっている酒場を何軒か横目で通り過ぎた後（酒を飲まない自分はこの手の店におひとりさまで入るのは苦手）、「レストラン街」に到着。

つらつら歩いてバーガー系の店に入店。ラム肉ハンバーガーとポテトとコーラのセットを注文。値段を忘れたけど15-20AUDくらいか。ともあれ、ぱくり。そろそろバーガー以外のものも食べたいが、とりあえずおいちい（ていうか昼飯食べてなかったよ…）。



地域コミュニティ人気投票

満腹になり、さすがに一息つけた。落ち着いたので、レジで手渡された王冠をしばしばと眺める。どうやらこれは「3つの地域コミュニティのグループから一番主張に賛同できるものに1票入れろ」ということらしい。最多票を集めたグループに何か実際のメリットは伴うのだろうか…と思うが、コーナーを見たらスポーツクラブみたいな団体と、その他の団体が合わせて3つ並んでいた。よく分からないが適当に王冠を放り込む。



シャワーを浴びて寝る

レストランを出てコンビニへ。必需品のコーラとそれにアイス。1年前に気に入っていたソーダバーがあったので買う。

宿に戻って、ではアイスはシャワー後のお楽しみと思って冷蔵庫に放り込んだ後で、一息つこうとコーラのペットボトルを開けたら、ここまで歩いて持ち帰った関係で盛大に吹きこぼれて大量に床にぶちまける。手もベとベと。さすがに気落ちして**もうやだ**寝よう
こんな宿を取るんじゃないなかった**こんな国に来るんじゃないかった**と落ち込むも、

気を取り直してふらふらとシャワー室へ向かう。

ボディソープの類が見当たらないので単なるぬるま湯（熱くならなかった）で身体を洗うだけだが、夏だけにシャワーが熱くならないのも苦ではないし、そもそも汗でベトベトの身体を真水で洗い流せるだけで相当に快感。

部屋に戻ってアイスを食べて気力回復。

なお、冷蔵庫は効いている気配なし。

4人部屋を1人で使い放題なので思いのまま適当にタオルとか脱いだものを広げて干す。奥のベッド1つに薄くて大きい布が置いてあったのでこれは掛布団なのか敷布団なのかしばし悩んだすえに、シーツなのだろうかと判断して敷いて、その上に裸で寝る。綿の入った掛布団はないが、多分あってもダニの温床になってる予感もするのでこれはこれで別に構わない。



そもそも当然のように**エアコンはない**ので暑くて掛け布団などいらない。このため窓を全開にして、枕元に扇風機をセットして全裸のまま横になる。

明日は10時までに着けばいいので余裕だが、目覚ましを7時にセット。

横になるなりたちまち睡魔が襲ってきたので、23時に就寝。



VIPなので金曜のうちに貰えた本戦プレイマット。このメカメカしいイラストはかなり好きですね。カラデシュのストーリーにこんなのがあったかなあ、と思ったらマスターピースの《真髓の針》のイラストでした。確かに首に刺さってます。

2017年2月18日（土） GP本戦初日の朝

朝の5時半。外が明るくて目が覚める。まずは睡眠は足りておりHPとMPは全快。よし起きよう。昨夜は散々な気分のまま寝たわけだが、やる気がすっかり回復したのでまずは食堂に行ってパイプ椅子を1個部屋に**かつぱらって**くる。さすがに立ったままPCを長時間操作する気など起こらないので、こんなものを誰かにいちいち断らない。そもそも断る相手もない。あくまで気分は前向きになったのが回復の証（笑）。

PCを起動してネットチェックを（仕事関係の連絡がないかチェックも）した後、昨夜のマジック日記をDiaryNoteにつけることから例によって開始する。こういうのは記憶が鮮明なうちにやっておくべきことであるし、そもそもこの本の基礎になるメモでもある。相変わらず部屋のWifiはまともにつながらないが気にしない。そのために6GBプランにしたのだ。クアラルンプールの時のようにうっかりテザリングをしたまま寝るような事をしなければ普通にPCを使うぶんには余裕だろう。

昨日のLCTシールドとFoiled Againドラフトの記事を書き終わると7時を回る。

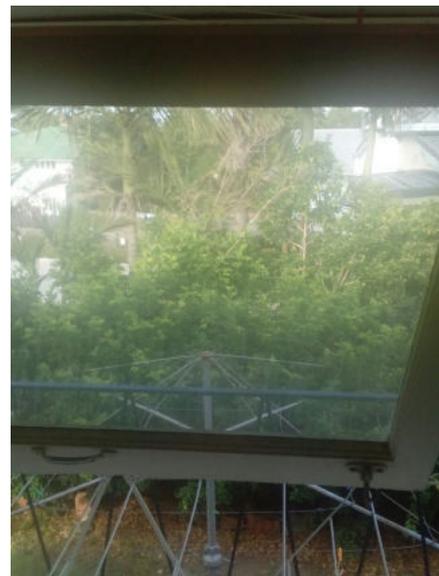
荷物チェックと身支度

スリープイン1BYEである自分は今日は10時までに会場に着けばいいので、朝食を取る時間を考えてもまだ余裕。というわけで部屋の荷物整理を開始。昨夜はそんな余裕もなくシャワーを浴びたらそのまま眠ったからなあ。

というわけでいろいろチェックを開始…する。いろいろ足りない。どうやら会場で昨日のLCTシールドの残りレア3枚をどこから置き忘れたらしい（覚えていないくらいだから多分どうでもいい奴だけ）し、スマホのストラップもないし、空港でスマホから抜いて財布に入れた**OCNのSIMが見当たらない**。落とした…んだらうなあ。ここで過ごすぶんには不自由はないが、日本に戻ったらさっそく困るし、再発行の手続きもやる必要がある。やれやれだぜ。やはりSIMケースを次までに買おう。

昨夜は全開のままで寝た窓から外を眺める。なるほど。この1階の窓の外はベランダがあって、運動能力のない自分でも普通にベランダに出られるし、ベランダ沿いに他の部屋に入れる。確かにコレは「貴重品は鍵付きのロッカーに入れておけよ」な話だ。

あとコレ害意があったら簡単に部屋に入れるよね。実は危険地帯であれば命の危険があった話なのかもしれない。そして昨夜自分はシャワーを浴びた後で全裸でベッドに寝ていたわけであり、もしかしたら**貞操の危険**があった話かもしれない（50のおっさんに、ねえよ！）。



でも正直な所、俺はともかくムチムチの若い女性なども泊まっているのを見ているので大丈夫なのかとは思った。

夜の薬を飲み忘れていたのでコーラで流し込む。財布の日本円をロッカーに突っ込む。現金は300AUDほど。昨日は200AUD位使った計算だが、まあそんなものだろう（サイドイベントでも75AUD使っている）。

すこし身体が痒いが、気にしない。虫くらいいるだろ。さほど汗もかいていないので手間を考えて朝シャワーは

パスして服を着る。半袖シャツと半ズボン。爽快。昨日は暑かったのも疲労の一因だったわけだが会場が冷房キンキンでないのも確認済だしこれは気持ちよく過ごせそうだ。汗でまだぐっしょりの昨日の長シャツと長ズボンをハンガーにかけ、シーツも広げてベッドにかけて乾かす（もちろん滞在中のベッドメイクなどあるまい）。

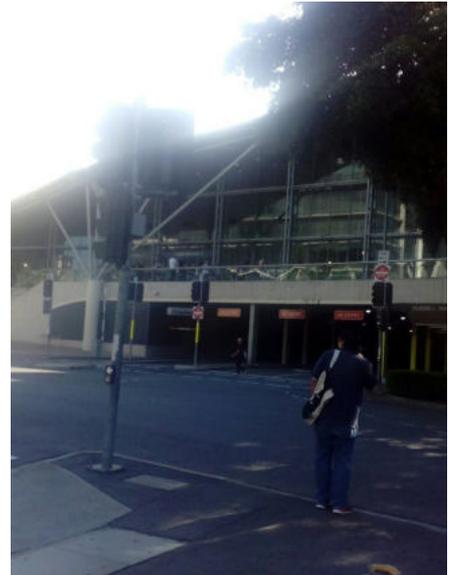
今日は終日GP本戦に出るだけだし会場で仕事をする気もまったくないのでPCを落としロッカーに入れ、昨日引いたレアカードなどもロッカーに入れて、施錠。

よし、ではエアコンもないこの部屋に長居しても仕方ないし、出よう。

パイプ椅子を食堂に返却してからドアを閉めてオートロックを確認して出る。

会場前のカフェで朝食

8時半に会場を出る。晴れ。うん、暑くて爽快！
そして1本道を300mも歩いて、5分もすれば会場前に着いた。うん、やはりこの宿で正解だったかも。
では朝飯にしようと思い会場周辺を歩き、結局は建物を半周し昨日入った会場入口前に到着。うん、昨日はここから30分も迷ったよ。



入口横のカフェで朝食。
卵たっぷりのオムレツをベーコンと小麦粉を薄く焼いたので巻いたホットサンド。意外と具がみっちりしていておいしく満腹。これとカプチーノで14AUDならば高くもないな。
明日もここでいいかなあ。

本戦プレイヤーミーティング

食事を終わると9時。スリープインの自分には問題はないが、プレイヤーミーティングは、すでに始まっているはずだ。再度、会場外周ルートで戻って会場に入る。

VIPエリアに座って本戦エリアのほうを見る。マイクではリッカルドが喋っており、デッキ



リストとメディア同意書を回収中だが、昨日のうちに提出した自分は無問題。
鞆の中に「今日の本戦デッキ」があるのを確認。よし、これさえあれば今日は戦える。

そしてほどなく 1 回戦が開始された。座っているこの
VIP エリアの目の前に VIP 用の座席表が張り出されて、
1001 番からのテーブル番号の VIP テーブルはその横。
つまり VIP エリアで待っていて掲示されるなり **5m も**

歩けば自分の席について対戦の準備ができる。

これはいい。無茶苦茶に楽だな今回の VIP エリア。

(結局、これが今回の VIP 最大のアドでしたね)

ちなみにコーラ買いまくり飲みまくりでしたが、会場は
VIP に限らず誰でも利用できるウォーターサーバーが

設置しており、しかも嬉しいことに**水が冷たい**。これはいいな。普段飲みならこれで
十分。ごくごく飲む。



GP 本戦開始

VIP エリアで待つうちに 1 回戦が終わり、2 回戦の座席表が掲示。

いよいよ自分の GP 本戦の開始です。目標をまず「人間に 1 勝」にセット。

Round1 BYE

Round2 Michael さん 青赤果敢 ○○

回って快勝。これは幸先がいい。

Round3 Michaelさん 白青タッチ赤 ○○

回って快勝。これは幸先がいい。

マイケルさん2連発は別にコピペミスじゃないです。

いけるやんこのデッキ。

すぐに3/3になって除去耐性もできる《実験体》が予想以上にいい仕事をするなあ。

これで3-0。目標を「勝ち越し」や「初日通過」に上方修正してもいいかな？

Round4 Cheさん 白緑呪禁オーラ ××

中国の方でしたが日本で仕事をしたことがあるらしく日本語で話してくれました。

G1 《夜明けの宝冠》を貼られてライフレースで負け。

G2 こちらの1体犠牲を省みない殴り合いのすえ、向こうのライフが8になり、さらに向こうがフェッチを切って7でこちらのターン。突破できるのは2体で手札には《稲妻》。どのみち停まったら負けのデッキだし行くしかないな…と思い総攻撃して相手の残りライフが3になったのを確認して《稲妻》を見せて「You」と言うなり、相手はにやりと笑って手札の《ドロモカの命令》を出す。やられた。もちろんそのモードは「インスタントかソーサリーのダメージを軽減」。返しのターンでこちらが殴られて負けるので、ただちに投了。

「いやぁ本体火力は持っていると思ったんですよ」と言われるも、今にして思えば、なんか妙なタイミングでフェッチを切ってライフを7にしたのも完全な**トラップ**であった模様。完全なプレイング負けによるさわやかな敗北。

対戦終了後にジャッジが「デッキリスト提出した？」と聞いてきた。「昨日受付に提出したよ」と答えると去ったが、あるいはこのラウンドのデッキチェックの対象だったのかもしれない。3-0だったものね。3-1になったけど。

すでに13時半を回った。さすがに小腹がすいてきたので昼飯にするかな…とも思うも、成田で買って機内でつまんだプリングルスがまだ残っていたのを思い出したので、つまむ。プリングルスを完食してもまだ空腹感があったので、次のラウンドが終わったらちゃんと昼食を取ることにしよう。勝っても負けても20分くらいで終わって疲れないこのデッキ。

Round5 Wangさん 白青黒 ×○×

- G1 《天使の嗜み》を打ってから《むかつき》を打って、ライフを失うことなくライブラリー全部を引ききったうえで《研究室の偏執狂》を置いてからドローク呪文を打って勝利するコンボデッキであった。うん、負けた。
- G2 コンボが決まる前に普通に押し切って勝ち。
- G3 押せ押せの結果ライフ1に追いつめるも、からくも相手がトップしたカードによりコンボがスタートして負け。うん、ちかたないね。

対戦終了後にやはりジャッジが「デッキリストが出てこない」と言い、デッキとサイドボードのカードを並べて写真を撮っていった。まあ別に後ろ暗いこともないし仕方ない。

たちまち3-2。もうすっかり「ふつうのひと」。まあ引き続き「勝ち越し」を目標に残り4回を戦おう。このデッキは悪くない。

Round6 Mattさん 無色アーティファクト ○○

- G1 普通に殴り勝ち。親和でもないっぽい迷わず《破壊的な享楽》をサイドイン。
- G2 相手ライフを4点まで削ったところで《罨の橋》を置かれたものの、手札をゼロにされ切れなかったためパワー1の攻撃が通り、相手が2枚目の《罨の橋》を置いてはきたもののもう1回殴って2点までした所で引いた《破壊的な享楽》で罨を1枚割り勝利。相手の手札残り1枚はなんだったんだろう。《白金の帝像》かなあ。

このラウンドが終了するなり、女性ジャッジが会場で配っていた公式ライフメモを持参したうえで「これを使え」との指示。自分が使っていたのはbolze.さん絵のライフメモ（昨年出したカラー版）だったわけですが、抗弁せず従ったものの「んー…」な気分。

もしかして初日通過？

6回戦を終えると15時半を回る。さすがに飯にしよう。昨日は気がつかなかったのだが会場の隅にカフェを発見したので入店し、バーガーとコーラを12AUDで購入。温かいバーガーを食べるとやっぱり元気が出る。明日の昼食もこれでいいな。



それはそれとして、ここまでで4-2。
あと3回を2-1できればGP初日通過だ。
これはもしかして、夢を見ていい…？

Round7 Danielさん 青黒ライブラリアウト ○×○

- G1 普通に殴り勝った。
- G2 サイド交換した相手が《墓所への乱入》でこちらの墓地のクリーチャー5体を追放して15点回復するわ《衰滅》でこちらを全部流すわで、ライフを削りきれず負け。
- G3 からくも勝利。勝因はおそらく、サイドインした《ガドック・ティーク》が刺さりこれが《致命的な一押し》で除去されるまで時間を稼げたのと、《壊滅的な召喚》を唱える際に思い切って土地全部を残さず流して5/5を2体出したこと。最後のターン、相手はしばらく色々考えていた末に投了。おそらく《衰滅》は持っていたのだろう。

これで5-2。えーと、あと2回のうち1勝すれば初日通過だ。さすがに夢見ていい？

Round8 Chrisさん 無色 エルドラージトロン ○××

- G1 チャリスでX=1を指定されて打点が落ちるも、まあ勝った。
- G2 《殴打頭蓋》でライフを稼がれ、ライフレースに負け。相手が無色の時点で厄介なアーティファクトの1つや2つは予想できたのに《破壊的な享楽》をサイドインしていなかった自分のヌルさが敗因に直行したと言えなくもない。
- G3 まったく話にならず優良エルドラージがずらずら並んだり《全ては塵》で一方向的に流されたりして負け。

これで5-3。すでに勝ち越しは達成できたし、勝てば2日目進出、負けてもいい夢を見て明日はPTQシールドで遊ぶというどっちに転んでも文句のない展開に。

Round9 Gregさん 白青黒緑 感染 ○○

あぶなげなく勝ち。正直なところ「感染」はデッキの相性的に楽な相手だと思いました。フェッチ3発切って11点になってもそれで死ぬ危険はないし。

ともあれこれで6-3。人生初の**構築 GP での初日通過**である。

ひゃっほう。パフパフドン。

いやあ明日のPTQシールドに参加できなくて残念だなあ（満面の笑みで）。

サイドイベント受付に行き「初日通過したのでネットで予約した明日のPTQシールドのキャンセル返金手続きをお願いします」と依頼して19時半、そのまま会場を出る。

シティに行く

会場を出る。ノープランだったがまあ普通に祝杯と飯だな。

時間はまだまだ余裕だし、これはあれ
だな**カジノ**に行くのも悪くない、と
考えて宿とは逆方向に北上し、ヴィク
トリア橋を渡ってシティ（市の中心
部）へと向かう。夜景がきれいだ。
そして事前情報に従い Treasury
Casino & Hotel Melbourne に到着す
るが、あれ…宿しかないなあ。そのの



レストランの従業員などに聞いてもいまひとつ要領を得ない。

カジノを探し夜の繁華街をうろろするうち、アダルトショップを発見。当然のように入店するも、正直なところ今更エロDVDやらエロ雑誌を2千円くらい出して買っても仕方ないので何も買わずに出る。

夕食

カジノを探してシティをうろろ歩くうちに **20** 時を回る。飯を先に済ませよう。フードコートがあったので入る。さすがに今夜はマクドなどで済ませる気は起こらないが、変な日本料理とかはもっとイヤだ。ステーキの店があれば喜んで入ったのだが、その手の店は見当たらない。結局、ハンバーガーは飽きたが肉は食べたいということで、韓国系らしい鶏肉が中心のファストフード「ネネ・チキン」に入店。選んだ理由の半分は**店の名前**だが（笑）、ラブプラスって遊ばなくなってもう何年になるんだっけ…。

チキンとソースを選び、さらにドリンクとコーン一皿を注文して待ち、ほどなく到着。よし、食うぞ。
どうやら手づかみで食べるのがここの作法らしい。
もぐもぐもぐうんおいしいです鶏肉は幸せのこと。



カジノへ

腹がふくれて落ち着いたので、やはりカジノに行くしかあるまいという結論になる。



再度ネットで地図などを調べて「やっぱり、手がかりはあそこしかないよな…」ということで、気を取り直して最初に入ったホテルに向かう。

改めて宿に入り、今度はちゃんとフロントで「カジノはどこですか」と聞くと「向かいの建物です」と即答。通りをはさんだアレか！あっちか！

キンキラキンの金色のネオンを想像していたから外したけど、河の向こう岸からも遠くからもずっと見えていた「紫」のライトアップしていた建物だったカジノ。

ともあれ、ドアを開けて建物に入る。

そのまま中に入ろうとしたら入口のデブ警備員から「リュックは地下のコインロッカーに入れろ」と言われる。そうか。パスポートはリュックの中でサイドバッグも忘れたから、ポケットにパスポートをむき出して持ちたくないんだがと思いつつ「まあいいか」と階段を降り、自動式のコインロッカーの端末に3 AUD分の硬貨を放り込んでパスワードを設定すると、指示された番号のロッカーが開いたので、パスポートもリュックに入れたまま放り込んで施錠。



そのまま先ほどの警備員の前をにこやかに通る。ここでパスポートの提示を求められたら困った所だが、さすがに未成年にも見えないわな。

カジノ自体はよそと大差ないが、ブラックジャックのテーブルがあんまりないし、ミニマム 15AUD とかだと、まあちょっと僕の懐具合ではやはり手が出ない感じ。飲み物の自販機らしいものがあり「このクラブ会員に申し込む（無料）とドリンクのサービス」というものがあるようだ。ふうむ。では会員になるか…と思ってカウ

ンターの場所を聞くと、それはカジノの外だった。再度デブ警備員の前を歩いて出てから、その横のコーナーに行く。すこし並んでから自分の番が来たのでカード発行を要求すると、まあ当然のことではあるが「身分証明書の提示を」と言われる。「パスポートはコインロッカーの中に入れてしまったのだが」と言うと「そりゃコインロッカーから荷物を出すしかないね」と言われる。このため「でもそこでコインロッカーから荷物を出したらまた閉める時に 3AUD かかるだろ」と言うと係員は「**カジノに遊びに来たというの**

にこの貧乏人はいったい何を言っているのだろう」という目で僕を見たので内心「ウワァァァン」と思って「もういいよ」とその場を去った。もちろん無料のドリンクのために 3AUD を払ってそうするのは割に合わない。飲料は我慢だ。

再度デブの前を歩いて中に入り、ぶらぶらしてから、適当なスロットマシンのセント台に座って 20AUD 札を突っ込んで、それをすって今回のカジノは終了。

帰る前にトイレに入って大きいほうを済ませる。キンキラキンの清潔なトイレであってもシャワートイレはなくてロール紙で尻を拭うのは、これはそこにカネをかける気はないと言っているだけの話なんだよなあ。シャワートイレは日本が世界に誇る**良い文明**！

トイレの所の自販機にコロンとかの身だしなみグッズに加えてコンドームがあるのには笑った。これはあれですか、誰かが大勝ちした際に近寄ってくるえっちな格好の売春婦とお相手をするためのものですか。ぼく知ってるそれ「俺の空」で学習しました。デブの前を歩いて外に出て、地下コインロッカーから荷物を出してカジノ終了。

スーパーに寄ってから宿へ

カジノを出ると21時半。さすがに、もう宿に帰っていいだろう。ガチ頑張る必要はないけど明日だって本戦の2日目があるのだ。ぶらぶらと南ブリスベン駅まで歩いて、ここまで来たルートに戻る。

会場から宿に戻るルートにまだ開いている店があるなと思ったらスーパー。あっ！歯磨きとかボディソープとか買ったかったんだよ。さっそく入店。



歯磨き歯ブラシボディソープ、牛乳とかパックジュースとかを購入。

スーパーを出て、昨夜同様に宿の近くのコンビニに寄ってアイスと、会社の土産用のM&Mなどのチョコ菓子の「3個で9AUDセット」を買って宿に戻ると22時半。

シャワーを浴びる。3台あるシャワールームのうち、昨夜と違う奴を利用したらこっちは熱い湯が出た。ボディソープも使って全身を洗い、昨夜より格段に爽快。

日記を書いて寝る

シャワーを浴びたので、溶けないうちにアイスバーを冷蔵庫から取り出して食べる。実のところ、色々いじってみても、冷蔵庫がやっぱりまともに機能していないが、それはそれとしてアイスを湯上りに食べるのは幸せ。

そして今夜からの部屋飲みはスーパーの牛乳ボトル。これは多分オーストラリアの税制の関係なのだと思うが、600mlのペットボトル4AUDのクソ高さに比べると牛乳は1リットル2AUDと、日本と遜色のないくらいの安さなのだ。



6パック3.5AUDの200ml ジュースも高くない。

1リットルは一晩で飲むにはいささか多めなもの、去年のGP ロンドンでケチってこの手の飲み残しを会場に持参したら、ソフトボトルのキャップというのは存外にゆるく会場内で中身をぶちまけた苦い思い出がある（GP ロンドン 2017 本参照）のでそれは避ける。まともに機能していない冷蔵庫に夏場1日置いた牛乳を翌日も飲むのは、もちろん極めて危険だ。だから飲み残しは明日の朝には捨てることにして、ごくごく飲む。飲みたいだけ飲む。そして翌日は腹をくだした（笑）。

本日の対戦日記を DiaryNote にまとめてアップ。そしてまた、本戦カバレッジがすでに更新されていることを確認できた。今回のGP ブリスベンは966人で、これはオーストラリアでは新記録らしい。そして自分は223位で通過できたことが判明。

日記を書いたらそろそろ日付が変わる。寝よう。

Creatures: 34 《ゴブリンの先達》*4 《密林の猿人》*4 《苛立たしい小悪魔》*2 《実験体》*4 《ナーナムの改革派》*4 《野生のナカティル》*4 《無謀な奇襲隊》*4 《隠れた薬草医》*4 《炎樹族の使者》*4	Lands: 19 《乾燥台地》*4 《血染めのぬかるみ》*2 《森》 《聖なる鑄造所》 《踏み鳴らされる地》*2 《寺院の庭》 《吹きさらしの荒野》*4 《樹木茂る山麓》*4	Sideboard: 15 《破壊的な享楽》*3 《ガドック・ティーク》*2 《大祖始の遺産》*3 《ゴア族の暴行者》*3 《裂け目の稲妻》*4
Spell: 7 《稲妻》*4 《アタルカの命令》*2 《壊滅的な召還》		

感想などは明日の本戦終了後にまとめて述べますが、今回の本戦デッキはこういう構成にしました。

2017年2月19日（日） GP本戦2日目

午前4時頃に腹をくだしてトイレに起きた後、外が明るくなってきた6時に目が覚める。

よし、眠くもなく爽快。起きよう。

本戦の2日目の開始は9時。ゆるゆると支度をして7時には出るようにすれば、朝食を含めても余裕だろう。

6時40分に宿を出る。曇り。涼しめで悪くなく快適。



朝食の都合もあるので、昨日朝の最短コースではなくて、昨日夜のスーパーのあるコースを進んで会場方向へ移動。

ゆるゆる歩いて会場の外周を北に回り、昨日のカフェで朝食を取ろうと思って7時過ぎに到着するも、この店は**日曜休み**であることが判明。あちゃー。



日曜の朝7時からやっているカフェが見当たらなかった
ので、来る途中に通過した昨夜のスーパーに戻り入る
(ここは朝6時からやっていた)。

スーパーの奥に、店員がカウンターごしに指定したパン
などをレンジで温めてくれるサービスあり。ハムチーズ
のクロワッサンの4.99AUD というのがうまそうだった
ので、指定して温めて貰い、レジで購入。

値札に4.99AUDとあったので5AUDを渡すも、レジの
店員が1セント(0.9円)玉を出す気配がないので、そのままバイバイする。レシートを
見たら4.99AUDだったから税金でもないだろうし別に構わないのだがそういうものなの
だろうか。天使の分け前。天使は目の前の店員かもしれない。

7時半に会場ビルに入るも、まだ開いていなかったので会場前テーブルでハムチーズクロワッサンとコーヒーの朝食。うん温かくておいしいですもぐもぐ。

これが5AUDならばぜんぜんOKですよというよりも、そろそろ「オーストラリアは食費が高い！」という認識自体を改める必要があるかもしれない。ペットボトルはくそ高くてレストランも安くないけど、選べば加工度の低い食品や食材は下手をすれば日本より安い。

エアコンの効いた室内で温かい食材をmg mgする幸せ。やっぱり無理してでも来て良かったなーブリスベン。



ちなみにティッシュ箱があるのは、今朝トイレに行ってトイレットペーパーが切れているのに悶絶したためである。

会場入り

8時になり、会場に入りVIPエリアへ。とはいえ9時まで特にやることはない。

「VIPは初日に渡せなかったマグカップを渡すので取りに来てください」という掲示があったので、受付に行って今回のマグカップを貰う。

この時点では、今日はもうまるー日本戦だけで終わりなんだよなー、サイドイベントには出られないなと勘違いしていたこともあって、ついでに金曜に獲得したポイントを賞品に交換しておくかとプライズウォールへ行く。プレイマットのリストに「GPメルボルン2016 天使」120Pとあったので「あっ！レベッカのアレはいいね！ちょうどいいこれにしよう！」と決めて頼んだら、出てきたのはRK Postのアレだった。これは1年前金曜にサイドイベントに出まくって（GPメルボルン2016本参照）まだたくさん手元に残ってるんだよね。まあお値打ち品であるし、そのまま受け取りましたけど。そういえばアレ天使だったんだね…よく見るとちちとふとももも出ている。

ぼくはRK Postさんの絵は好きなほうなのですが欲を言えばもう少しガリガリでなく肉付きの良い女性のほうが好みですね。ともあれ、今日はプレイマットを持参するの忘れたので今日はこの天使プレイマットで戦おう。



そういえばこのブリスベンでは、GP会場も街中も、ふとましめの女性が少な目の衣服で歩いていることが多いので、でぶせんの僕には大変嬉しい所なのでした。胸の谷間は普通デフォルトでよく見せてくれていますし（そりゃ暑いからだよ）。

1日確保した明日の観光予定はコアラ聖地くらいしか入れていないのですが、やっぱ午後泳ぐかな！夏だしな！VIP席で観光ガイド本をぱらぱら見て、サウスバンクに人工の「ビーチ」があって泳げるらしいことが判明。よし、明日行くことにするのもいいだろう。財布の中身を確認。130AUDある。きょうサイドイベントでお金を使うこともないなら、これで何とかかなー。

そうこうするうち9時になりラウンド10の対戦表が掲示。本戦2日目のはじまりだ！

GP2日目開始

Round10 Michaelさん 無色 親和 ××

- G1 そういえば親和は初めてだな…と思いつつ対戦するも、全般に引きがおじいちゃん。というより除去ナシでの殴りあいだとこちらが爆発力を発揮できないと無理。序盤で出てきた《大霊堂のスカージ》がだんだん+1/+1が乗っていき、でかくなり続けてライフレースでは段々劣勢に立っていき、最後に《頭蓋囲い》が出て装備され投了。
- G2 引きがおじいちゃんですら3キルはおろかまったく伸びないまま、秒でサイドインした《破壊的な享楽》も引かずにやがて相手に《頭蓋囲い》が（略）

Round11 Edwardさん 青赤緑 x○x

- G1 引きがおじいちゃん、なかなか打点を稼げず、並んで一斉攻撃をしようとしたら《謎めいた命令》で寝かされたりした末に相手が《向こう見ずな実験》を自分に打つ。何が出てくるのかなと思ったらサーチしたアーティファクトは《白金の帝像》。ああなるほどなあ。これで《向こう見ずな実験》によるライフ損失は踏み倒した。そしてこちらは相手のライフを削るあてがなくなった。投了。
- G2 サイドで構成を変えてこなければ《白金の帝像》を割れば倒せるよな、と思いつつ迷わず《破壊的な享楽》をサイドイン。とはいえそれを打つまでもなく倒せた。
- G3 引きがおじいちゃん（略）

この頃には「2日目は6ラウンド」という話を聞く。あ、そりゃそーだ。ということは、あと4ラウンド遊んでも午後4時には終わるな。ドラフト2回くらいはできるじゃないか。あるいはサイドイベントでも善戦できるかもしれないし、あるいはプライズを早々に変換したの早まったかなー。リミテ用のスリーブ部屋に置いてくるんじゃないかなー。

終了10分たってもまだ長引いている卓があってなかなかラウンド11が終わらない。「10分後にラウンド12の対戦組み合わせを掲示する」というアナウンスが出た。

Round12 Josephさん 青黒赤タシグル xx

こんなゆっくりデッキを殴りきれないほどに今日の右手はおじいちゃん。サイドインした《大祖始の遺産》も刺さらないし、そもそもタシグルが出てくるまでに、ライフ回復しているわけでもない相手を3キルと言わずとも殴りきれない時点でダメダメ。相手がタシグルを出し、たくさん置いた土地のmanaをたっぷりと残し、墓地の単体除去を再利用して、の流れをゆっくりゆっくり回されてじり貧のまま負け。2回とも。

これで本日は早くも0-3。

いくら相手も初日を通じたデッキだとはいえ、この回らなっさぶりはヒドイ。ともかくあと3回の目標を「1勝すること」に設定（笑）。

昼食

正午になったので次のラウンド 12 までの待ち時間に昼食にすることに。やはり昨日と同じカフェで、昨日と同じのハンバーガーを頼むことにした。

レジに並んでいる際にヒーターの所に 1 個残っているのを確認して「よしよし」と思ったら自分の前に頼んでいたおっさんがそれを頼んで売り切れ。番号札を受け取って待つも、後から待った客のポテチが先に出たりして、



ここで 5 分以上待たされる。今日はとことん**ついてない日**だということを実感する。それはそれとして、出てきたバーガーはやはり普通にうまかった。納得のおねうち価格 7.5AUD。朝の薬も飲む。よし！あと残り 3 回！まずは 1 勝するで！

GP 本戦終了

Round13 Kimberley さん 不戦勝

例によって VIP エリアに座って対戦相手が来るのを待つうち、席に若い女性の方が来た。内心少し嬉しくなって「Kimberley?」と聞くと、相手は僕を見て「そうだけどドロップするから」と伝えて去る。

念のためスリップが配られてから開始後に 10 分待って、ジャッジを呼ぶとロコが来た。ロコに「No Show な」と言うと「ああ彼女はドロップするって伝えてきたよ」と答えた。

これで手続き終了。目標の **1 勝ができた**ぞ。目標を「戦って 1 勝」に修正（笑）。

キンバリーさんは僕の顔を見てからドロップを伝えてきたので、もしかしたら僕が若くてイケメンだったらドロップしなかったのだろうかとか考える（やさぐれてる）。

Round14 Michaelさん 青緑エルドラージ ××

あかん。まったく回らなかった。というよりエルドラージは相性が悪い相手である感じ。向こうも生物を高速召喚するデッキで相手のほうがサイズがでかくてアドも取れる。右手が回って3キルできればこっちの勝ちだけど、回らないとまったくダメ。

Round15 Gilliganさん 青黒コン ○○

こっちの回りは決して良くなかったものの、向こうもフェッチでガンガン自分のライフを削っていくタイプであり、全体除去も引かれず、単に引いたクリーチャーを並べて殴っていたら比較的勞せず勝てた感じ。相性差かな。

デッキを片付けていると向こうが友人に「相手はZoo」と言っているのが耳に入る。

ちゃうねん…確かに1回も《無謀な奇襲隊》を引かずにまったく爆発力を見せずに殴ってただ勝ったけど、これ本来はZooじゃなくてBlitzというタイプのデッキなんや…（涙）。

ともあれ本日は2-4、トータルで8-7で今回のGPブリスベン本戦は終了。

2勝48点のPWPだけなら今日はPTQシールドに出たほうが稼げたように見えるけど（笑）、楽しかったあ！

今回のGP本戦のデッキを回した感想

というわけで今回構築したのは独自調整を入れた赤緑ブリッツでした（リストP.32）。

まず土地ベースはレシピを完コピ。回していて「よくできてるなあ」とは思いました。

基本は赤緑で白呪文はゼロだけど《野生のナカティル》を3/3にするために平地入りのショックランドを引いてくる必要があるんですね。Naya Zooに見えたのはこのあたり。

《アタルカの命令》は相手のライフ回復を打ち消すモードも全部に+1/+1するモードも相手の本体に3点入れるモードも全部このデッキにがちり噛み合っているのが当然4枚入れるべきカードだと思いました。2枚しかないのは単に自分のタルキール龍紀伝の箱を

ひっくり返したら2枚しかなかっただけの話（笑）で、さすがに1枚2千円で買ってまでガチる気はありませんでした。まあ、もう1週間くらい家のカード箱を漁るのが早ければ、労せず友人に借りられたのでしょくど。

あとはその穴を埋めるべく《苛立たしい小悪魔》を入れたあたりが自分の独自。これは、しばしば1マナ4点火力になってくれましたし《実験体》の成長も促せたので、それほど悪くないとは思いました。クリーチャー34体というのはこのデッキ的には正解。

サイドボードは本体火力のダメ押しにと《裂け目の稲妻》を入れてみましたが、まったくサイドインする気が起こらなかったのもこれは意味がなかったですね。実際に回してみてもクリーチャー除去がほぼ無いと、特にエルドラージ相手がとても厳しいなと思ったので、おそらく正解は《流刑への道》あたりでしょう。白は余裕で出せます。

あと今回は自分の資産の関係からほとんど全部のデッキが**日本語カード**だったので、相手がちょっとでもカードの効果が怪しそうな様子を見せたら「このカードはこういう意味なんですけど迷うようならジャッジを呼びましょう」と言って「ジャッジー！」というコールをしばしばかけました。15ラウンドで10回くらいは呼んだでしょうか。

その際の感想としては、さすがに《ゴブリンの先達》や《野生のナカティル》等で迷うひとはゼロでしたが、最新セット「霊気紛争」から採用した2種8枚のクリーチャーについては、見せてもすぐ分からない人が多数だったのでたいていは即座に呼びました。さらに言えばそこで呼ばれたジャッジもこのカードを見ても普通は分からずに（笑）、自分も英語名を忘れていたのでスマホで検索して貰う際には「霊気紛争の117番です」みたいな説明をしました。まあ、別に今のメタの上位に居るデッキというわけでもありませんからねブリッツは。

あとは比較的古いセット（ワールドウェイク）のカードの《壊滅的な召喚》あたりは、やはり見せても分からないプレイヤーが多かったのでたいていジャッジを呼びましたがジャッジのほうはおおむね「オーケー俺はこのカードを知ってるけどオラクル出すよ」みたいな反応だったのは面白かったです。

ともあれこれで本戦は終了。まだ15時。よし！あとドラフト2回はできるかな！

8人ドラフト 日曜ポッド16

さっそくサイドイベント受付に行き、ドラフトポッド16にエントリー。ちょうど自分が8人目だったようで、ほどなく立つ。売っているスリーブがイマイチだったので、自分の本戦デッキを解体して40枚のスリーブを調達。

1-1 《カーリ・ゼヴの巧技》。弱くはないが色を決めるほどのレアではないね。

1-2 《巻きつき蛇》。赤と黒緑は噛み合っていない…。

結局は蛇はカットしただけのいつもの白赤機体で。

取りレアはどうでもいい感じ。

《結束への呼びかけ》
《カーリ・ゼヴの巧技》
《英雄的介入》
《模範操縦士、デパラ》
《造命師の動物記》

獲得レア

Creatures: 13

《発明者の見習い》
《格納庫の整備士》
《経験豊富な操縦者》
《領事府の空船口》
《岩の執行官》
《模範操縦士、デパラ》
《夜市の護衛》
《襲撃会の扉破り》
《搾取工区の喧嘩屋》
《空渦鷹》
《むら気な巨人》
《拳闘構築物》
《歩行貯蔵器》

Spell: 11

《圧点》
《罪の自覚》
《チャンドラの螺旋炎》
《世話》*2
《飲み込む炎》
《カーリ・ゼヴの巧技》
《攻城化改造》
《ボーマットのバザール船》
《鉄装破壊車》
《浮遊化改造》

Lands: 16

《平地》*8
《山》*8

構築デッキ

Round1 Karlさん 黒緑 ○○

G1 5/5 機体に+3/+0 先制攻撃のオーラを貼って無双。相手が除去を引かなかったのでそのまま勝った。

G2 まあ勝った。

Round2 Samirさん 青緑 ××

引きがおじいちゃんに負け。

プライズ 30 ポイントをゲット。さ、次いこ次。

8人ドラフト 日曜ポッド 21

16時半のエントリー時には3人。昨夜買ったM&Mの182g袋をつまむうち、17時前に立った。アジア圏でもドラフトが比較的早く立つようになったのは本当にいい。

取りレアは…比較的どうでもいいなー。

手なりでまた白赤で組むも、手ごたえなし。

《金属ミミック》 《速製職人の反逆者》

獲得レア

Round1 Christopherさん 白赤 ××

対面も白赤だったかー。ほぼミラーのような展開で、向こうのほうが展開も良く、負け。

さ、次いこ次。

8人ドラフト 日曜日ポッド 23

18時前にエントリーし、ほどなく立つ。

レアはどうでもいいし、ピックをした《巻きつき蛇》に引かれて黒緑で決め打つも、たぶん誰かと競合しているらしく碌な+1/+1カウンター乗せ系カードが流れてこない。

失敗ドラフトだな。ドラフト受付は19時までだから、ここで一没してさっさと負ければもう1回できるのかな…とか思いつつ対戦開始。

《活性機構》 《造命師の贈り物》

獲得レア

Round1 Johnさん 白緑 ○××

最後は土地ばかり引いて、書くべきこともなく負けて終了。

この時点で19時を回っていたので、もはや次のドラフトにもエントリーできず。

最後の卓でのドラフトで自分の上家に座ったプレイヤーが、なぜかさっさと構築を終わらせて対戦の準備をせず、机のうえに自分のピックしたカード全部を並べ後ろの友人と延々とドラフトに対する感想を5分以上もだべっていた。正直なところイラッときた。ジャッジにせかされて準備を始めたのだが、その時点で**スリーブに入れ始めた**のには正直なところ怒るというより呆れた。あいつがまともにすぐに始めてくれれば、あるいは19時に間に合って、もう1回できたかもしれないんだけどなー…。

結局、3回のドラフトでは1勝30ポイントだけ獲得できたので、靈気紛争のブースター3パックと交換して終了（後で剥きましたが、たいしたものはありませんでした）。

ともあれ、これで自分のGPブリスベンは終了です。**楽しかったあ！**

夕食はステーキ

会場を出ると19時半。のんびり飯にしよう。やっぱりステーキだよねということで店を探すと、会場近くのパブのディナーに、ステーキがあるのを発見。レジで会計をカードで済ませる。サーロインステーキ300g+サイドメニュー2つ+コーラで44AUDは、それほどには高いとは言えないと思えるお値段。



ほどなく到着。いただきまーす！

こんなものかな 300g と思える大きさだが、肉の厚みは 1cm くらいはある。こんなものなのだろう。うん、おいしいおいしい。付け合わせの野菜とポテトもおいしい。味も量も自分にはちょうど良かった感じで満足。この店はいいな。明日も来ようかなあ。

宿でのんびり

食事を終わると 20 時半。あとは部屋に帰って日記を書いてくつろぐだけだ。スーパーで今夜の牛乳とポテチを買う。

地面が濡れているな…妙に涼しいし、小雨でも降ったのかな？

今日はそこそこ涼しいもののコンビニでアイスを買って宿に戻る。シャワーを浴びたあとアイスバーをかじるいつもの安上がりな幸せを満喫。

仕事のメールチェックも終え（特に対応の必要なし）ると 21 時を回った。

よし、とりあえず今日のマジック日記をまとめることからだ。日記を書きつつスーパーで買った 1 リットル牛乳をごくごく飲みながらポテチをかじる。あ、おいしい（たっぷりと夕食を 1 時間前に済ませたはずではなかったのか俺…）。

とりあえず今回の GP では「勝つのも負けるのも早く終わる」ブリッツであり、VIP 席でほとんど移動せずとも対戦できたので体力的には大変に楽でした。

22 時過ぎに、なんか外ですごい音がすると思ったら、どうやら**土砂降りの雨**。うわ、この時間に外に出ていなくて良かったな。

そういえば特に想定はしていなかったけど、明日の昼ずっと 1 日雨だったりする可能性も一応考慮しておいたほうがいいのか…？ まあ今回の場合は、もしそうなったら部屋で 1 日仕事というつまらないオチになりそうな気もしないでもない（笑）。とはいえ、天気予報を見る限り、その心配はしなくて良さそうだな。今夜涼しいだけなら雨も歓迎。

本戦カバレッジを確認。結局、トータル 226 位で終了か GP ブリスベン。

日記も全部書いて、コアラ聖地への行き方も確認すると 24 時前。歯を磨いて寝る。

2017年2月20日（月） 観光日

寝ていてもいいのだが、やはり明るく6時過ぎには目が覚める。何だかんだと身体は割とガタガタだが起きてしまおう。割と寝汗でべとべとだったので朝のシャワーを浴びる。明日の帰国予定を確認。9時50分発の便だから、8時には空港に着いておきたい。逆算すると7時には宿を出ておきたい…ということは、荷造りは今夜のうちに終えておいて、6時に目覚ましをセットするくらいでいいかな。今日は夜に荷造りさえできれば、あとは何も考えずに終日観光でいいだろうなあ。

…その前にメールを読むと、ちょっとだけどうやら会社の仕事を片付ける必要があるようだったので遺憾ながら2時間ほど仕事をする。よしこれでいい。あとは遊ぼう。

コアラ聖地への移動を開始

9時半に宿を出る。まずは会場までつらつら歩いて、ヴィクトリア橋を渡ってシティへ。

すこし曇り気味だが涼し目の爽やかな朝だ。

ガイドブックに「コアラ聖地にはシティのバス停で430番バスに乗る」とあったので、さてバス停はどこだと思って探すと、どうやら地下にあるらしく入口を発見。さっそく階段を降りる。

ただし写真にも取った「1番バス乗り場入口」は、正解の「2番系バス乗り場」とはつながっていない

ことが判明したので再度地上へ出てから入り直す必要があった。バス乗り場は地下で全部つながっているかとも思ったのだが、そんなことは別になかった。





2番バス乗り場入口から地下に入ると、ほどなく目的の430バスが停まる2C乗り場に到着。じゃああとは目の前の自動販売機で切符を買って待つだけだね…と思うも、自動販売機の行き先リストにKoala Sanctuaryがなくいささか慌てる。

結局、自販機のリストでなく2C乗り場の看板のほうの路線マップには載っていたので、それで「ゾーン2」であると確認し「ゾーン1から2」の片道切符5.7AUDを購入。時間に余裕がなければ危なかった。ていうかね、自動販売機はゾーン制なんだからこういうのはバス駅の

ゾーンを書いておいてくださいなタビトモさん。

ついでにダイヤを確認。どうやら45分かかるようだったが、その前に1時間に1本しかバスが出ないという事実を知っていささか慌てる。幸いあと15分後に到着するようだ。…1時間に1本なら、向こうに着いたら帰りのバスの時間もチェックしておかなきゃね。ともあれ10時47分、到着した430バスに乗り、しゅっぱーつ！

コアラ聖地に到着

バスはまずヴィクトリア橋を渡って南下し、橋のたもとで停車。ここはGP会場のそばだ。ていうかここにバス停があるのならシティ中央まで歩かなくて良かったじゃないか（笑）。帰りはここで降りることにするか。別にシティにもう用はないし。

財布の中の残金を確認。50AUDほど。結局、昨日ドラフトを3回やったことでもあり、これだと今日と明日の観光と帰国には足りないね。追加で200AUDくらいおろそう。着いたらまずATMでお金を下ろして、それから入園して昼食にしよう。

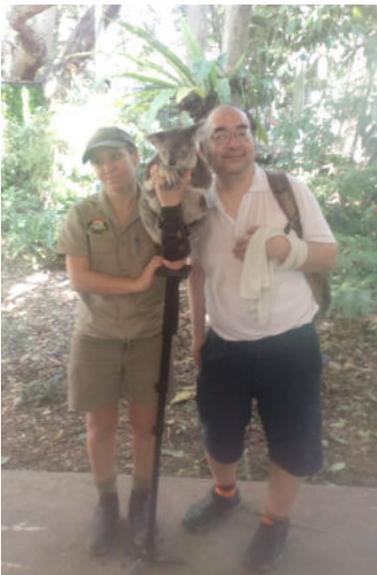
車中は風景を眺めたりうつらうつらしたり数独をして過ごすも、11時半に目的地に到着。

入口で写真を撮る（本書の表紙）。おひとりさまなので自分の写真を取りたくなった際は、周囲を見てお互いに写真を撮っているような家族やグループを見かけ次第、声をかけて「一緒に写真を撮ってあげましょう。その代わりに僕の写真も撮ってください」と言えば普通は即応されました。こみゅにけーと。

入園料 36AUD を払って入ると、財布の底が見えたのでまずは ATM を求めて園内中央の施設に行き、200AUD を確保。ついでにもう昼飯にする。フィッシュ&チップスとコーラで 15AUD。フィッシュ&チップスは去年の GP ロンドン時に引き続いて食べたわけだけど、普通にうまい。そもそもが揚げたて白身魚とポテトがうまくないわけがないんだよなあ。そりゃまあステーキとかに比べれば「格」の低いやすい料理であるのは事実だろうけど、



少なくともフィッシュ&チップスを英国メシマズのテンプレートの一環として論じるのは妥当性がないように思える。去年のロンドンのような暴力的なサイズでもなく普通においしく完食。食事を終わると 12 時半。では園内観光だ。



ここからは普通に園内をだらだら歩いて、目の前を歩く鳥やカンガルーとツーショットの写真を色々撮影したりしましたが、ざっくり割愛します。

あとはこの「売り」のコアラとの写真か。これはガイドブックにあった 18AUD の料金を覚悟してきたわけですが窓口で聞くと「こちらの設備を利用しての撮影して結果のプリント等を受け取る場合にはこの料金ですが、お客様のスマホなどに撮影だけをする場合には**無料**」という嬉しい話を聞く。もちろんそれでいいです。というわけで、13 時からそのサービス開始に合わせて列に並び、係員立会いでの生コアラとの写真を撮影。

動いているウォンバットとか見られなかったけど、まあこんなもんでいいかな…園を出てバスで帰ろう。女房への土産に、ユーカリのハンドクリームやユーカリの蜂蜜を購入。

船でシティに帰る

ではゲートを出たら5.7ADU払って13:57発のバスで帰ろう…と思ったら帰り道で「シティへのクルーズ14:15から1日1便」との看板。ほほうと思って売店に戻り値段を聞いたら12AUDとのこと。

ほう！それは内容の割にお高くないな！面白い、今日は別に急ぐ観光でもないし、是非試してみよう。どうしてこんな面白げなものがガイドブックには載ってなかったのかなあ（伏線）。



切符は船の中で買えとのことなので、栈道を降りて船へ。

板を上って2階デッキに入り、料金を払って椅子に座って待つ。13時を回りエンジンがかかって警笛が鳴る。盛り上がってまいりました。そして時間になり、しゅっぱあーつ！船はぱたぱたと音をたてながら、ゆっくりと時速5kmくらいで動き出しました。そして

いつ加速するのかなと思っていたものの**ずっとその速度のまま**でブリズベン河をシティのほうへゆっくりゆっくり下り続けます。アナウンスによれば75分くらいかけて移動する模様。…うん、まあ今日は別に先を急いでいる観光じゃないし、船の旅を楽しむのがクルーズだから別にいいんだよ、うん。他の観光客も僕と同じ心境だったのかは不明なのですが、ともあれ微妙な空気で**船内が沈黙のお昼寝ゾーン**になりました。

シティに近づくにつれ岸につけてある大小クルーザーが段々多くなっていき、たまに小型クルーザーがこちらをしゅんと追い抜いていきます。うん、僕あのくらいの速度でシティまで移動する船の旅だと思っていました。ガイドブックに載ってないわけだわ（笑）。

ビーチで水遊び

15時半、クルーズ船はシティの
ヴィクトリア橋の近くに着きました。
そろそろ降ります。今日はもう観光
予定は他に入れていないし、非常に
いい天気結構暑い。やはりこれは
予定通り、ビーチで泳ぐべきだな！
というわけで川沿いに歩いて南下。
そして15分くらい歩いてビーチに



到着。ついた！泳ぎてえ！ 水着売り場を探して周囲をうろうろ歩き、土産物屋で水着とバスタオルを37AUDで購入。更衣室とコインロッカー（カジノの奴と同じシステム）も発見したので着替えて荷物一式を4AUD払ってロッカーに放り込み、16時、水遊び開始。ここは海や河に直接つながっているわけではないものの「ビーチ」とあるように、砂を持ってきて敷き詰めてある。これがとびきりの快感。プールだとどうしても「泳ぐ」か「出てベンチで横になる」の2択になりがちで、泳ぐのが得意でない自分は水から出ると濡れた身体に風があたり割と「寒い」ことも珍しくなく結局そんなに長時間は居られないのだが、ここは砂で浅瀬が作ってあるので、水の中で顔だけ出しぬるい水の中でぷかぷか漂うことができる。波が顔にかぶることもなく、そのままうとうとするくらい気持ちいい。たまに起きて深いところまで移動して泳いだりの繰り返し。至福。割と頭頂部が日焼け。さらに月曜の午後だというのに割と結構な人手で、肉付きの良い若いおねえちゃんなどが遠慮なくビキニを着てそのへんで遊んでいる。眼福。まあ当然ながらほとんどは男と一緒にだったり、男女2人ずつのペアの**リア充爆発しろ**だったんですけどね。でもたまに若い女性1人とか若い女性の2人組とかも居ました。まあ50のおっさんは別にナンパを試みることもしませんでした。しかし女性の2人組は若いのもそうでないのも普通に「お友達」に見えるのに、おっさん2人組とかだとホモに見えるのはなぜなんだろう。いつまでも漂っていて良い気分だったのだが、日が傾いてきてそろそろ涼しくなりかけてきたようだったので、17時半過ぎにビーチをあがってシャワーを浴びてロッカーを開け替えて終了。楽しかったあ！これだけまともに泳いだりしたのは10年ぶりくらいか。

いったん宿に戻る

水着を買った売店で「ファンタフラッペ」4AUDなりを買う。自分でカップに注ぐタイプ。おーいし！ではそろそろ18時になるし、夕食にしよう。位置的にはいったん宿に戻って、荷物を置いてから夕食というコースで良さそうだ。

どうやらブリスベン観光も最終コーナーを回った模様。あとは帰るだけ。現在地はサウスバンク駅前。シティほどではないもののそこそこ開けた繁華街で、IMAXシアターとかもある。良い店があればこのへんで夕食にするのも悪くなかったが、まずはつらつら宿へ。さっきのフラッペがおいしかったので、途中のセブンイレブンに入り自分でカップに注ぐタイプのフラッペに手を出す。Lカップになみなみ注ぎ1AUD。あ、この安さなら、風呂上りに2AUDのアイスバーを買うより、こっちのほうがずっと安くてたっぷり楽しめるではないか。さらに安上がりに過ごせるライフハックを発見。明日もう帰るけど。公園の中を突っ切ったりして18時半には宿に戻れた。そろそろ日が暮れる。

そういえば明日はチェックアウトだなと思って、玄関の携帯でマネージャーに電話する。

「ハロー」「いま泊まっていて明日の早朝にチェックアウトするんだが」「代金はもう貰っているからいい」「預かったカードキーは」「ベッドの上に置いておけばいい」

「オーケーいい宿だったぜグッバイ」用件終了。金曜夜に疲労の極みでチェックインにも手間取った時は畜生こんな所に来るんじゃなかったと思ったものですが普通に慣れました。

今夜もステーキ

やはり今夜もハンバーガーでなくがつつり肉を食べたいな…ということで宿を出て近くのレストラン街を歩いて探すも、結局は北上して**昨日と同じ店**に言ってしまう芸の無さ。昨夜はサーロインステーキ300gを堪能したので、今夜はひとつジャイアントランプの400gを頼むことにする。ただし値段はサーロイン300gよりも安い(笑)。昨日同様にサイド2つをチョイスしてコーラをつけて41AUD。プールもコアアラ写真も無料で今日は

予想よりお金を使わなかったので現金で払う。財布にはまだ 80AUD くらい残っているので、明日の空港土産で使い切る計算。追加分を 300AUD でなく 200AUD にして良かった…。



そしてステーキが到着。見せてもらおうかオーストラリアの 400g の実力を！ 例によって「大きさはこんなもんか」な気もする

見た目だが今日は厚みが 2cm くらいある。自分で 3cm 角ぐらいに切って食べる。うむ。脂肪の乗ったやわらか肉ではなく歯ごたえのある赤身のがっつり肉だ。安めでもうまい。

サイコロステーキを 20 個くらい食べている感じ。割と肉だけで満腹コース。

500g にいきなりチャレンジしなくて正解だったか。うまいうまい。

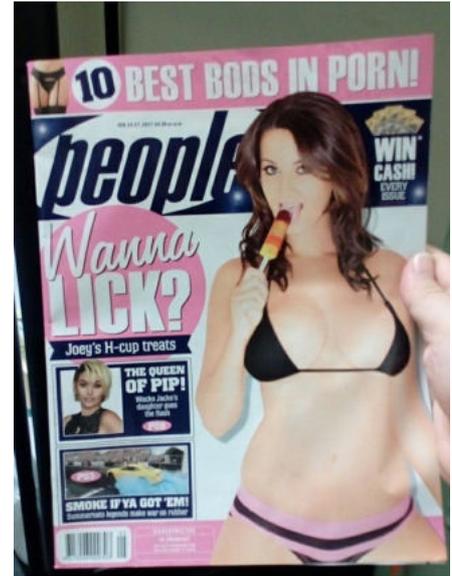
肉だけでなく敷いてあるポテトやマッシュルームなども食べつついただく。そろそろ腹の中の小人が「ポテト残していいですか」「ソースの中に沈んでいるマッシュルーム残していいですか」とサインを送ってきたのをガン無視して完食。ふう。おいしかったあ！

カンタス航空遅延

食事をしつつツイッターを読んでいたら、自分より 24 時間早い今朝の便でブリスベンを発った日本勢から「いま成田が春一番の嵐で着陸できずに羽田に着陸しました」とかいうトホホなネタが流れてくる（羽田だからもう日本のネットにつながるのだ）。大変だなあ。しかも羽田でそのまま入国させてくれればむしろ成田より喜ぶ人が多いと思われるのに、そうはさせてくれず、そのまま羽田では給油と待機をしてから**改めて成田に行く**という罰ゲームのような状況である模様。うわあ大変だなあ。しかしこれ下手すれば成田に着いたのはいいが東京に戻る電車がもうなくて成田泊というパターンなのではないか。自分は今日無理に帰らずに 1 日観光を入れて本当によかった（ひとごと）。

エロ本を買って宿に戻る

ステーキに満足して、20時過ぎにレストランを出る。コンビニに寄り今夜飲む飲料と、シャワーを浴びた後に食べるフラッペを購入。さらに書籍コーナーを除くと、エロ本を発見。ビニールがかかってないのでパラパラとめくると、まんすじや陰毛もばっちり。一応確認すると「15歳未満は推奨しない」レーティングでした。うん1年前のメルボルンの時に知ってた。オーストラリアはまんすじは15歳未満は非推奨だけどコンビニで誰でも立ち読み可。ぱっくり開いていたり挿入している部分を写した写真入りの奴は18禁でビニールがかかってます。



そう高くもないので話の種と土産に購入して、シャワーを浴びた後に部屋でパラパラと。まるで**トランプ大統領**のスピーチのような下品な俗語交じりの簡単英語で、辞書を引かなくてもこの僕にでもすらすら読める！（俗語を知らないとかえって難しいかも）

荷造りをして寝る

だらだらしているのも楽しいけど、そろそろ21時。明日は早めにチェックアウトをして8時頃には空港に着きたいので、とりあえず荷造りを済ませよう。今回はほとんど荷物が増えなかったGPだった。この俺としたことがプレイマットも4枚しか増やさなかったしなあ。22時前に荷造り終了。

PCを起動したら、仕事の指示出しをする必要があることが分かったので、ちょっとだけ仕事をする。仕事を終わると23時過ぎ。よし、もう寝ていい時間だな。寝よう。

歯磨きをして、日付が変わる頃に就寝。

2017年2月21日（火） 移動日

やはり明るく 5:45 には目が覚めた。そして結構身体が寝汗でべとべとだったので、熱いシャワーを浴びてさっぱりすると 6 時。ではさっさとこの PC もしまつてまずは宿を出て空港に移動することにしよう。のんびりするのには、それからでもいい。

メールボックスを開いたら「カンタス航空**遅延のお知らせ**」のメール。本日の成田行きの便は 90 分遅延して出発予定時刻は 11:20 へと変更とのこと。知ってた。それって昨夜成田に到着するのがひどく遅れたあの便だね。ていうか 1 日に 1 便のカンタス航空の成田-ブリスベンは、明らかに 1 つの機体をピストン往復させているだけですよね。成田では給油だけして本格的な整備はブリスベンでしているのでしょうか。

カンタス航空 61	9:50	ブリスベン発	9h10m	18:00	成田着	1h30m
カンタス航空 62	19:30	成田発	9h10m	5:40	ブリスベン着	4h10m

宿を出て朝食

部屋に残したものはないか確認。楽しかったよでも冷蔵庫は直せよというメモとチップとカードキーを冷蔵庫の上に置いて、7 時に宿を出る。

カートを押し押し駅へ。

朝食はまず空港に着いてから…とも思ったわけだが結局まだ 4 時間もあることになったし、腹も減ったのでここで済ませようと開いているカフェに入る。

ポークとたっぷりマヨのトーストが 10AUD に加えオレンジジュース 4AUD。まあ値段はこんなもんだろう。





ちなみに無料で冷えた水の瓶が出たので、それでジュースを節約してもう少し浮かせることは可能であった（笑）。別にいいけど。水が出たのを幸い、朝の薬を飲む。

皿のたっぷりマヨと半熟玉子の黄身もパンで拭き取って完食。おーいし！たーのし！

国際空港駅へ

朝食を済ませると7時半。ふたたびカラコ口を押し駅へ。ほどなく南ブリスベン駅に到着。GP会場の横を北に回って改札口へ。空港までのチケット18AUD。ちょうど着た3番線の電車に乗る。車内アナウンスで空港行きであることを確認。キンキンの冷房が心地よい。まあ、普通にいけるだろ。財布の残金は33AUD。空港で土産などで使い切りコース。冷房の快感にうとうとしてたら8時半に人がぞろぞろ大量に降りたのに目が覚める。外を見ると「空港駅」の掲示に一瞬慌てかけるも、よく見たらこれは国内線空港駅であった。国際線空港駅はさらにその次の終点だ。

その10分後に国際空港駅に到着。電車が停止してしばらく待っても車両のドアが開かない。そのまま立って待ちかけてふとホームを見ると人がぞろぞろ歩いていたので「いけね」と思いつつドアを見ると果たしてボタンがあったので、それを押したら目の前のドアが開いた。

駅を出て渡り廊下をまっすぐ進むと空港。楽だ。



空港チェックイン

そろそろ9時だが、空港の電光掲示板で0950 トーキョー行きは1120に遅延との情報。うん、知ってた。それはそれとしてチェックインを済ませて荷物を預けてしまおう。機械にパスポートを通したら搭乗券でなく「窓口に行け」という紙が出たので窓口で並ぶ。なにごともなく窓口で荷物を預けて搭乗券を受け取る。10:35に83番ゲートに行けとのこと。1時間半後。早すぎるというほどのものでもないな。

今回使用した通信料を確認。3.2GBほどだった。結果的には4GBプランでも間に合った計算だが、6GBプランにした追加10AUDは、残量を気にせず使うための安心料。今回は旅先でのスマホの通信トラブルらしいトラブルはない旅であったな。**日本のSIMを落とした**ことを除けば（それは普通スマホ絡みのトラブルと言うのでは）。

続いて出発ゲートに。まずはセキュリティを通過してしまおう。意外と並んでいる。

残金使い切りタイム

10時前にセキュリティを通過して出国。83番ゲートの前に着く。では残金使い切りタイムだな。土産の酒を買ったりファンタのペットボトルを買ったりする。残金6AUDをコーラの自販機に突っ込んで終了かなと思ったら、5AUD札が自販機に拒否されるという事態に慌てる。仕方ないので免税店でTimtamのチョコを買い、さらにその釣り銭で自販機でコーラを買う。

これで残金1.75AUD。もう何も買えないし、さすがにこの金額を持ち帰って次に使うのも無理なので、募金箱を探して発見し、放り込んで終了。



搭乗

ゆるゆると 11 時過ぎに搭乗し、自分の席に着席。順調に行けば 19 時に成田に着けるか。

昨夜の飛行機が **5 時間遅延**した影響でこの便が遅れたとのアナウンス。うわそんなに遅れたのかあの便。みんな無事に昨夜のうちに家に帰れたのかなあ。

ところでその影響かどうかは分からないのですが、いま自分の乗っているこの便はかなり機内がガラガラ。自分の居る中央 4 列は自分ひとり。もしかして横になれんじゃね？

やがて「本日は空席が多いので水平飛行に移ったら座席を移動しても構いません」というアナウンスが流れる。ふむ。ほぼ「定刻」の 11 時半に離陸。通信を切る。

快適な機内

水平飛行に入るなり、自分の隣席を確保し、間のひじかけを上げて広々と座る。さすがに他の客が移動してきたので 4 人席占有はなかったが十分。後ろの人も 2 席を占有し自分と違う側に座ったので遠慮なくリクライニングを目一杯倒す。さらに自分の隣席のモニタを

「マップ専用」にして常時現在地と到着予定などを表示することにして、目の前の自分のモニタは「映画や音楽鑑賞用」に位置づける。

自分は基本 LCC でマイルも貯めないの過去エコノミー以外に乗ったことはないのですが、さすがにこれだとエコノミーでも快適だなあ。

9 時間が苦にならなさそう。

昼食は 12:55 マッシュルームのトルテリーニ。

普通においしいです。

さらに 13:50 にコーヒーと菓子 1 かけら。

14:15 にはアイスクリーム。総じて、おいしゅうございました。

機内では「おくりびと」や「ライフ・オブ・パイ」を観る。



着陸

真昼間ではあるものの、機内の照明は落ちていたわけですが（まあ静かに寝てろってことですね）、19:30に照明がつき、軽い夕食が出る。今度はギョズレメ…って何だ？という自分ですが、要は小麦粉を焼いた食べ物です。これはトルテリーニも同じ。構わず食う。着陸まであと1時間くらいか…それはそれとして時計を日本時間に戻します。



つまり現在は19時頃。楽しかったブリスベン旅行もそろそろすべて終了です。

帰国

19:54に成田空港に着陸。OCNのSIMをなくしたので空港Wifiにつないでみるが、案の定、まったく使い物にならない。

入国審査を終えると20:21。20:30に荷物を受け取り税関を通過。あとは帰るだけ、と空港第2ビル駅に入ってホームに降りると、目の前で総武線が出ていき、次の総武線が21:17までないことが判明。畜生。この際だから高くてもいいから成田エクスプレスでいいかなあとと思ったら「切符はホームで買えない」とかに嫌気が差して見送る。結局これだと新小岩に停まらないから乗り換えの必要もあるしね。

結局、21:17の総武線エアポート成田に乗り、新小岩に到着し、タクシーで22時半帰宅。

お家に帰るまでがGPであり、これで今回のGPブリスベン2017も終了しました。

(完)



Copyright:Google

GPブリスベン 2017 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2017年4月30日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者 (ひろじ) について：

<https://twitter.com/kondohi> (ツイッター。最近はここメインです)

<http://otakutalker.diarynote.jp/> (ダイアリーノート。マジック関連はここで)